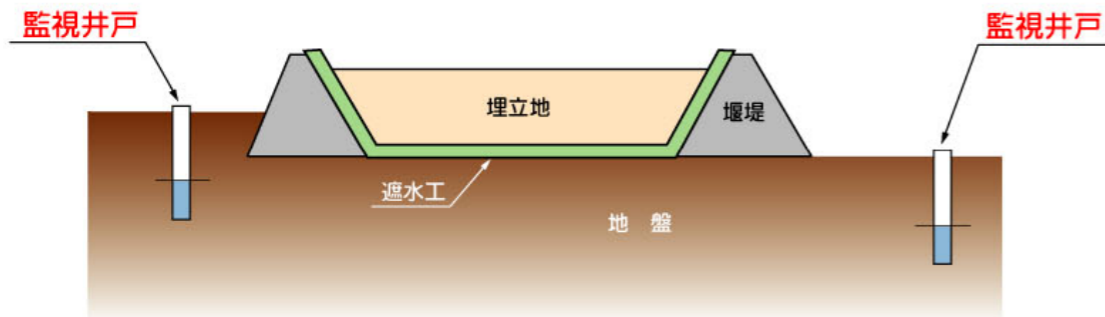


Q5 地下水への影響がないことはどのように確認できますか？

A これまでご説明したように、埋立地から浸出水が漏れ出さないようにするため、安全を確保するための設備やシステムを何重にも導入することとしています。

このため、地下水への影響はないと考えていますが、さらに安全を確認するため、埋立地周辺に地下水監視用の井戸を設け、定期的に水質検査を行います。



馬頭最終処分場に関する 相談窓口が10月から変更となります！

町民の皆様からの疑問にお答えし、ご意見やご要望をお伺いするため、今年の4月から「相談窓口」を開設しておりますが、10月から開設日を変更させていただきます。開設日については、那珂川町の広報誌やケーブルテレビばとうでもお知らせします。

なお、開設日以外で相談を希望される方は、下記のお問い合わせ先まで、ご連絡ください。

【開設日】
原則、毎月第1水曜日
に変更

相談日時 ▶ 毎月第1水曜日 午後1時から6時まで
場 所 ▶ 那珂川町役場本庁2階 第3会議室

相談窓口では、

- 県と町の職員が対応します。
- 処分場整備に関する資料をご覧いただけます。
〔基本設計書、事業実施のための環境影響評価書、グリーンライフなかがわ、県民だより、町広報等〕

お気軽にお立ち寄りください！



お問い合わせ先

- 栃木県 環境森林部 馬頭処分場整備室 TEL.028-623-3227 FAX.028-623-3182
e-mail : bato@pref.tochigi.jp
- 那珂川町 環境整備対策室 TEL.0287-92-1110

発行

- 栃木県 環境森林部 馬頭処分場整備室 〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20 TEL.028-623-3227
【栃木県ホームページ】 <http://www.pref.tochigi.jp/>
[⇒ 環境 ⇒ 廃棄物・リサイクル対策 ⇒ 馬頭最終処分場]
- 財団法人 栃木県環境保全公社 〒320-0043 宇都宮市桜2-2-28 TEL.028-622-7654

(平成19年10月発行)



つぎつぎ
“とちぎ”

Green Life
グリーン・ライフ

～快適で安全な暮らしのために～

第 8 号

なかがわ

遮水システムって 何ですか？

これまで皆さんから馬頭最終処分場について、
たくさんのご意見、ご質問をいただいておりますが、
今号は、そのうちから埋立地に降った雨水の対策について特集しています。

馬頭最終処分場の遮水システムについて

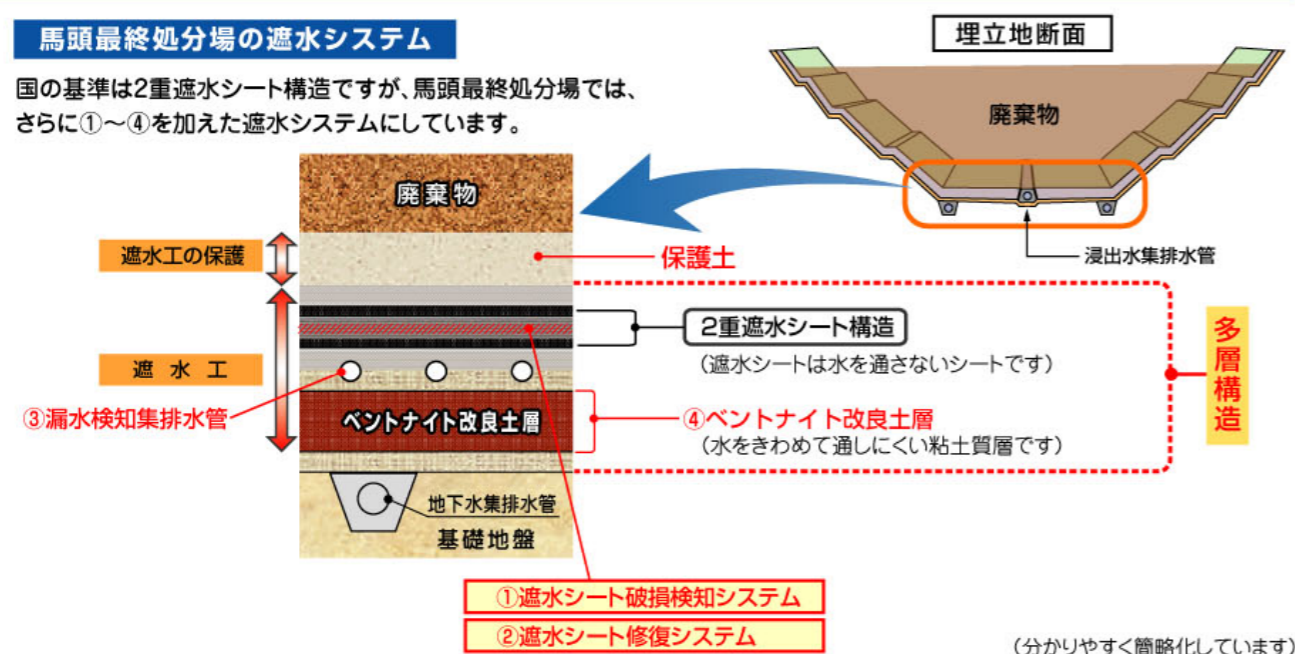
〈埋立地から浸出水を漏れ出さないようするための仕組み〉

Q1 埋立地に降って廃棄物に触れた雨水が、埋立地から漏れ出ることはありませんか？

A 廃棄物に触れた雨水を浸出水と言いますが、この浸出水が埋立地から漏れ出すことのないよう、埋立地全体に遮水シートを二重に敷き詰めるほか、幾重にもわたるバックアップ機能を備えた多層の遮水構造を採用します。また、浸出水は集排水管で集められたうえで、水処理施設できれいにしてから放流します。このため、地下水などの汚染の心配はありません。

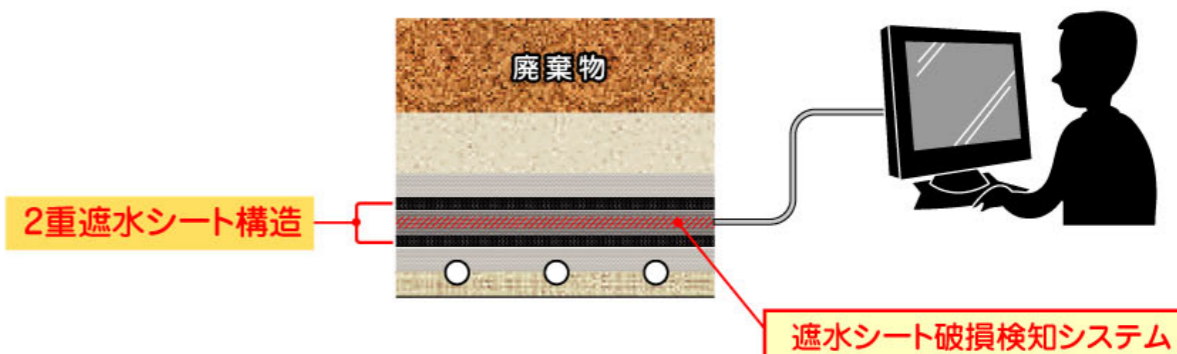
馬頭最終処分場の遮水システム

国の基準は2重遮水シート構造ですが、馬頭最終処分場では、さらに①～④を加えた遮水システムにしています。



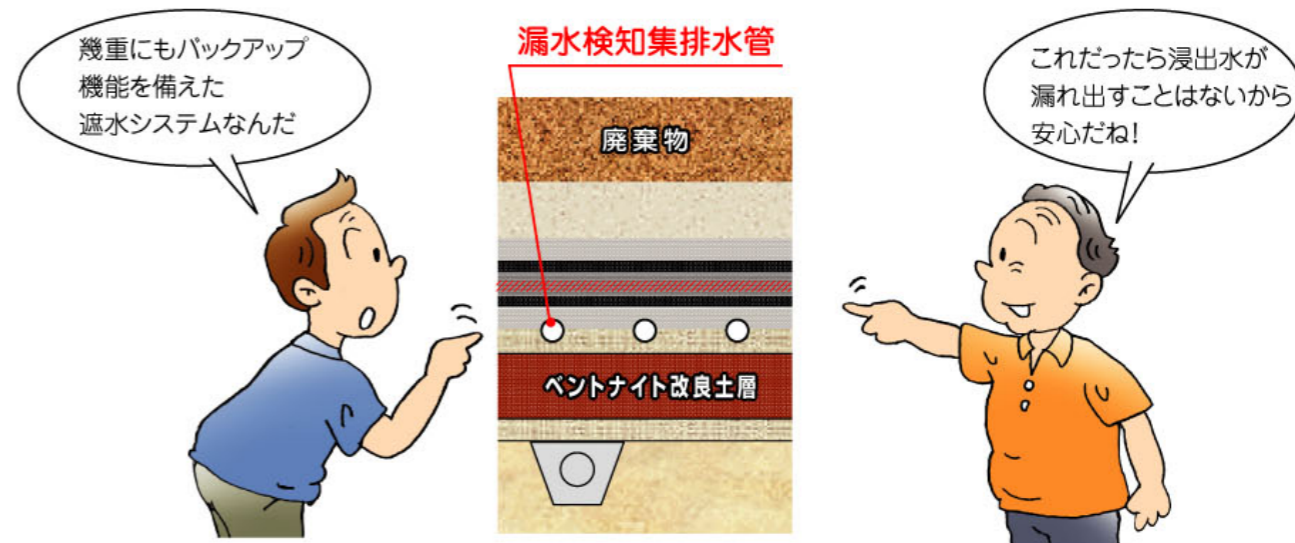
Q3 遮水シートが破れたらどうなりますか？

A 馬頭最終処分場では、遮水シートの破損を検知するシステムを導入します。このため、万が一遮水シートが破れた場合もその場所を特定し、修復することができます。



Q4 遮水シートの下に浸出水が漏れたときはどうなりますか？

A 仮に、浸出水が遮水シートの下に漏れた場合は、漏水検知集排水管で集められ、水処理施設で処理されることになります。さらに、遮水シートと漏水検知集排水管の下部には、ほとんど水を通さない性質を持った粘土の一種であるベントナイトを用いた改良土層を設けますので、浸出水が漏れ出す心配はありません。



Q2 埋立地でダンプや重機の作業中に遮水シートを破ったりすることはありますか？

A 埋立作業による遮水シートの破損を防ぐため、埋立地の遮水シートの上に土をかぶせます。これを保護土と言いますが、基準では50cmのところ、馬頭最終処分場ではその2倍の1mもの厚さの保護土を敷き詰めますので、シートが破れることはまずないと考えています。

